

鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会
現地視察及び第 1 回会議の概要

1 現地視察

- (1) 日時：2月16日（日）午前9時から正午
- (2) 場所：事業計画地、福井水源地、塩川、三輪山（みわやま）の清水、天の真名井 等
- (3) 委員：嶋田委員、杉田委員、伊藤委員、勝見委員、小玉委員
- (4) 内容：地層の露頭部分、ボーリングコア（サンプル）、周辺水源を確認

2 第1回会議

- (1) 日時：2月16日（日）午後2時から3時40分
- (2) 場所：米子ワシントンホテル 2階「らん」
- (3) 委員：前述のとおり
- (4) 結果：
 - ア 会長：嶋田委員に決定。（委員の互選による）
 - イ 公開規程：各委員から事前に伺った意見に沿って作成した案（＝傍聴定員30名、別室モニター傍聴室の準備、遵守事項（撮影・録音の禁止、議事妨害の禁止等）に違反した場合の退場などの定め）を決定。
 - ウ 調査方針：次の意見に沿って調査計画を検討していくことを決定。

（主な意見）

○追加ボーリングは必要。

ただし、具体的な場所、箇所数、深さなどについては、改めて検討する。

また、既存のボーリングも、使えるものはなるべく活用する。

○解析方法は、3次元シミュレーションを検討する。

範囲は、（北側）日本海、（南側）精進川、（東側）孝霊山の尾根筋、（西側）佐陀川まで。（約30平方km）

○調査期間は、1年半～2年程度かかる。

・基礎データの収集（地層・地質データ、地下水の水位・水質観測、

河川の流量観測など） ⇒ 1年以上

・3次元シミュレーションのモデル設定、検証 ⇒ 半年～1年

○追加の資料として、調査範囲内の川の流量データ、気象データ、既存の井戸データ（水位、水質）等の収集が必要。

○地下水位、河川の流量観測は、なるべく早めに観測を始めた方が良い。

エ 今後の予定：第2回会議は、令和2年4月頃を予定。

- (5) 傍聴者：22名（会議室内傍聴定員30名を下回り、別室モニター室での傍聴なし。）